

小川原湖の自然を守り育てる

1. 小川原湖って、こんなところ



小川原湖は、太平洋と通じる汽水湖。面積62.3 km² (全国11番目)

小川原湖は、「青森県上北郡東北町大字大浦字小川原湖191番地」という地番をもつめずらしい湖です。

3. 活動の成果

① 耕うん

耕うんすることで、湖底の砂が柔らかくなりました。また、同時に水草も除去することができました。この結果、耕うんした所は、シジミの生息密度が2倍以上に増えました。

船で桁を曳いて耕うんします



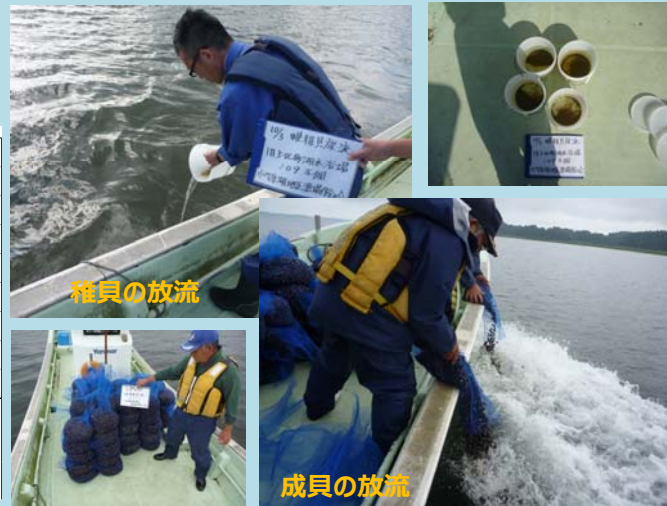
噴流式の桁は、湖底を深く耕うことができます。

<ノズルユニット部>
材質：ステンレス製
寸法：160×150×30



② 種苗放流

稚貝と成貝を湖の適正な場所に放流することで、生息密度の増加傾向がみられるようになりました。

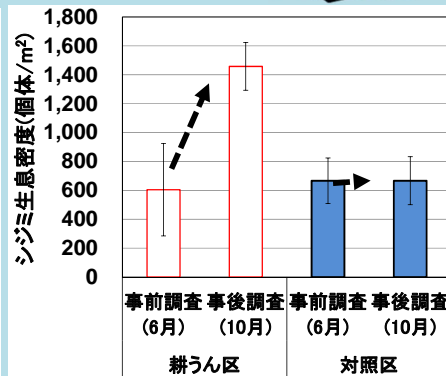
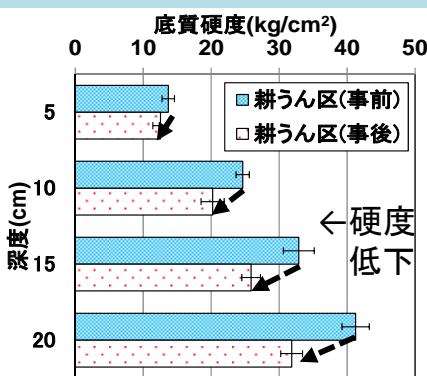


発足年月日：平成25年6月4日

活動組織：小川原湖地区漁場保全の会

構成員：漁業者255名、漁業者以外182名

年間スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 耕うん				←→								
② 種苗放流							←→					
③ 湖岸清掃				←→			←→					



③ 湖岸清掃

平成26年は、漂着ゴミを約4.2t。漂着水草(ヒルムシロ科やシオグサ科など)を約55t回収しました。



漂着ゴミは仕分けて袋詰め



岸に漂着した水草の回収



小川原湖で繁茂する水草



活動組織：小川原湖地区漁場保全の会 代表 鶴ヶ崎 純一

事務局：〒039-2406 青森県上北郡東北町旭北4丁目31-662 小川原湖漁業協同組合内

TEL：0176-56-2104